

## 卒業生アンケートについて（ご報告）

IR室

卒業生調査として、過年度の卒業生を対象に、本学の教育満足度、教育全体を通じて身についた能力、本学の施設・設備の満足度、学生生活の経験、実社会において必要と考える能力、今後本学の教育や学生支援に期待すること、生涯学習に関して本学に期待すること、転職予定と検討業種等についてアンケートを実施しました（平成30年12月～平成31年1月に教務課・キャリアサポート課が実施）。

なお、能力評価については、平成24年度改訂カリキュラム以前の教育課程による卒業生に関するものとなります。また、比較に用いた卒業時調査は、平成31年2月に実施した平成30年度卒業生を対象とした際の結果です。

### 【結果概要（別紙集計データ参照）】

#### <全体>

- ・回答要請卒業生数は、平成23～27年度卒業生1,240名であり、回答数が453名（約37%）となった。なお、回答のあった卒業生の卒業年度に特段大きな偏りはない。その他、本調査要請企業等数は、平成30年度の学部卒業生数（327名）以上である。
- ・回答の卒業生等の現在の業種は、病院（34%）、薬局（25%）、企業（計16%）、その他（13%）、公務員（計7%）、ドラッグストア（5%）という構成である。
- ・卒業生の進路・就職状況から教育成果等を検討するため、「グループ①：病院、薬局、ドラッグストア」「グループ②：企業（研究）、企業（開発）、企業（MR）」「グループ③：公務員（病院）、公務員（行政）、教育機関、その他」に区分して、以下のとおり、問2・3については結果確認を進めた。

#### <問2：本学の教育満足度>

- カリキュラム・ポリシーに準じて、(1) 基礎教育・ヒューマニズム教育科目、(2) 語学教育科目、(3) 薬学専門教育科目、(4) 医療薬学教育科目、(5) 実務実習、(6) 卒業研究の区分で調査した。卒業時調査における設問内容と同様。
- 「グループ①：病院、薬局、ドラッグストア」の回答
  - ・全ての区分において「どちらかと言えば満足」が40%を超えている。
  - ・「満足」の割合は(4)・(5)が約50%と高く、(3)が43%、(6)が28%、(1)が17%、(2)が7%という順である。
  - ・(1)・(2)・(6)については、「どちらかと言えば不満足」の割合が20%を超え他に比べて高く、「不満足」の割合についても(1)が8%、(2)が16%、(6)が10%と高い。なお、(2)については「どちらかと言えば不満足」「不満足」の割合の合計が50%を超えている。
- 「グループ②：企業（研究）、企業（開発）、企業（MR）」の回答
  - ・「どちらかと言えば満足」の割合が(1)については50%超、(3)・(4)・(6)については約40%となっている。
  - ・「満足」の割合は(3)～(5)が約50%と高く、(6)が34%、(1)が16%、(2)が4%という順である。
  - ・(1)・(2)・(6)については、「どちらかと言えば不満足」の割合が20%を超え他に比べて高く、「不満足」の割合についても(1)が6%、(2)が24%と高く、(5)も10%と高い。なお、(2)については「どちらかと言えば不満足」「不満足」の割合の合計が約70%となっている。
- 「グループ③：公務員（病院）、公務員（行政）、教育機関、その他」の回答
  - ・「どちらかと言えば満足」の割合が(1)については50%超、(3)～(6)については40%を超えている。

・「満足」の割合は (3) が約 50%と高く、(4) が 44%、(5) が 36%、(6) が 32%、(1) が 17%、(2) が 6%という順である。

・(1)・(2)・(6) については、「どちらかと言えば不満足」の割合が 20%を超え他に比べて高く、「不満足」の割合については (1) が 11%、(2) が 18%、(6) が 11%と高い。なお、(2) については「どちらかと言えば不満足」「不満足」の割合の合計が 60%を超えている。

○回答区分に配点したグループ比較

「満足」・・・2点、「どちらかと言えば満足」・・・1点、

「どちらかと言えば不満足」・・・-1点、「不満足」・・・-2点 として算定

※グループ毎に構成数が異なるため、算定された合計点を構成数で割り、均等化して比較する。

※グループにおいて 0.8 点以上を赤、0.5 点未満を青で記載。グループ全体で 2.4 点以上を赤、1.5 点未満を青で記載。

	グループ①	グループ②	グループ③	合計	卒業時調査
(1) 基礎教育・ヒューマニズム教育科目	0.55 点	0.48 点	0.41 点	1.43 点	0.49 点
(2) 語学教育科目	-0.13 点	-0.54 点	-0.40 点	-1.07 点	0.24 点
(3) 薬学専門教育科目	1.23 点	1.25 点	1.27 点	3.76 点	0.91 点
(4) 医療薬学教育科目	1.31 点	1.30 点	1.23 点	3.84 点	0.90 点
(5) 実務実習	1.21 点	1.07 点	0.99 点	3.28 点	0.93 点
(6) 卒業研究	0.59 点	0.76 点	0.68 点	2.04 点	0.98 点
合計	4.75 点	4.33 点	4.19 点	—	4.44 点

・グループ別の合計点から、グループ②・③からの評価が比較的低い。

・(3)～(5)については、全グループからの評価が高い。

・(1)・(2)・(6)については、全グループからの評価が低い。特に(2)はマイナス評価となっている。

・(6)については、グループ②からの評価が高い。

・卒業時調査から比べ、(3)・(4)・(5)が向上している。一方、(2)・(6)については低下している。

<問3：本学の教育を通じて身についた能力>

○ディプロマ・ポリシーに準じて、(1) 薬剤師としての心構え、(2) 患者・生活者本位の視点、(3) コミュニケーション能力、(4) チーム医療への参画、(5) 基礎的な科学力、(6) 薬物治療における実践的能力、(7) 地域の保健・医療における実践的能力、(8) 研究能力、(9) 自己研鑽、(10) 教育・指導能力、(11) 文章表現力・数的処理能力、(12) 国際感覚・異文化理解の区分で調査した。卒業時調査における設問内容と同様。

○「グループ①：病院、薬局、ドラッグストア」の回答

・(1)～(11)については、「どちらかと言えば身についている」が 40%を超えている。

・「身についている」の割合は、(1) が 27%と高く、(5) が 23%、(6) が 22%、(9) が 21%、(2) が 18%、(3) が 18%という順である。

・「どちらかと言えば身についていない」の割合が、(10)～(12)については 40%台、(3)・(4)・(7)・(8)については 30%台、(2)・(6)については 20%台と高い。(4)・(7)・(8)・(10)～(12)については、「身についていない」の割合が 10%を超えており、(12)は 35%と特に高い。

○「グループ②：企業（研究）、企業（開発）、企業（MR）」の回答

・(1)・(2)・(4)・(5)・(6)・(7)・(9)については、「どちらかと言えば身についている」が 40%を超えている。

・「身についている」の割合は、(2) が 30%と高く、(9) が 25%、(1) が 24%、(5) が 24%、(6) が 19%、(4) が 18%、(3) が 16%、(8) が 16%という順である。

・「どちらかと言えば身につけていない」の割合が、(10)・(11)については40%、(3)・(4)・(7)・(8)・(12)については30%台、(6)・(9)については20%台と高い。(3)・(6)～(8)・(10)～(12)については、「身につけていない」の割合が10%を超えており、(12)は49%と特に高い。

○「グループ③：公務員（病院）、公務員（行政）、教育機関、その他」の回答

- ・(1)～(3)・(5)～(7)・(9)については、「どちらかと言えば身につけている」が40%を超えている。
- ・「身につけている」の割合は、(5)が29%と高く、(1)が24%、(9)が22%、(2)が21%、(4)が17%、(3)が16%、(6)が16%、(8)が16%という順である。
- ・「どちらかと言えば身につけていない」の割合が、(11)については40%、(3)・(4)・(7)・(8)・(10)・(12)については30%台、(2)・(6)・(9)については20%台と高い。(4)・(8)・(10)～(12)については、「身につけていない」の割合が10%を超えており、(12)は45%と特に高い。

○回答区分に配点したグループ比較

「身につけている」・・・2点、「どちらかと言えば身につけている」・・・1点、

「どちらかと言えば身につけていない」・・・-1点、「身につけていない」・・・-2点 として算定

※グループ毎に構成数が異なるため、算定された合計点を構成数で割り、均等化して比較する。

※グループにおいて0.8点以上を赤、0.5点未満を青で記載。グループ全体で2.4点以上を赤、1.5点未満を青で記載。

	グループ①	グループ②	グループ③	合 計	卒業時調査
(1) 薬剤師としての心構え	0.85 点	0.91 点	0.72 点	2.48 点	1.01 点
(2) 患者・生活者本位の視点	0.49 点	0.82 点	0.54 点	1.85 点	0.92 点
(3) コミュニケーション能力	0.33 点	0.07 点	0.24 点	0.64 点	0.69 点
(4) チーム医療への参画	0.20 点	0.40 点	0.07 点	0.68 点	0.76 点
(5) 基礎的な科学力	0.86 点	0.73 点	0.85 点	2.44 点	0.79 点
(6) 薬物治療における実践的能力	0.54 点	0.46 点	0.46 点	1.46 点	0.59 点
(7) 地域の保健・医療における実践的能力	0.07 点	0.12 点	0.20 点	0.39 点	0.56 点
(8) 研究能力	0.17 点	0.01 点	0.04 点	0.23 点	0.72 点
(9) 自己研鑽	0.71 点	0.63 点	0.57 点	1.91 点	0.83 点
(10) 教育・指導能力	-0.06 点	0.00 点	-0.13 点	-0.18 点	0.46 点
(11) 文章表現力・数的処理能力	-0.07 点	-0.13 点	-0.23 点	-0.43 点	0.43 点
(12) 国際感覚・異文化理解	-0.96 点	-1.03 点	-0.99 点	-2.97 点	0.00 点
合 計	3.13 点	3.00 点	2.35 点	—	7.75 点

- ・グループ別の合計点から、グループ③からの評価が比較的低い。
- ・(1)・(5)については、全グループからの評価が高い。
- ・(3)・(4)・(7)・(8)・(10)～(12)については、全グループからの評価が低い。特に(10)～(12)はマイナス評価となっている。
- ・(2)については、グループ②からの評価が高い。
- ・(9)については、グループ①からの評価が高い。
- ・卒業時調査から比べ、(5)が向上している。一方、その他の項目については低下している。特に、(3)・(4)・(7)・(8)・(10)～(12)が大きく低下している。

<問4：本学の施設・設備の満足度>

- (1) 講義にかかわる施設・設備、(2) 実習にかかわる施設・設備、(3) 研究にかかわる施設・設備、(4) 学生生活にかかわる施設・設備の区分で調査した。卒業時調査における設問内容と同様。
- 全ての区分において「どちらかと言えば満足」の割合が40%を超えている。また、「満足」の割合が30%を超えており、(2)については、50%を超えている。
- (3)・(4)については「どちらかと言えば不満足」「不満足」の割合が計約20%となっており高い。
- 回答区分に配点した比較

「満足」・・・2点、「どちらかと言えば満足」・・・1点、  
 「どちらかと言えば不満足」・・・-1点、「不満足」・・・-2点 として算定

※算定された合計点を構成数で割り、均等化して比較する。

※0.8点以上を赤で記載。

	卒業生調査	卒業時調査
(1) 講義にかかわる施設・設備	1.16点	0.53点
(2) 実習にかかわる施設・設備	1.38点	0.98点
(3) 研究にかかわる施設設備	0.91点	0.83点
(4) 学生生活にかかわる施設・設備	0.80点	0.39点

・卒業時調査から比べ、全項目が向上している。特に(1)・(3)は大きく向上している。

<問5：本学での学生生活の経験>

- (1) 入学前と比べて大学での学生生活によって自分が良い方向に変わったと思いますか。(2) 大学での経験が仕事に役立っていると思いますか。(3) 大学での経験が仕事以外の社会生活に役に立つと思いますか。の区分で調査した。
- 全ての区分において「どちらかと言えば、はい」が約50%となっている。また、「はい」の割合が25%を超えており、特に(1)が43%と高い。
- (3)については「どちらかと言えば、いいえ」「いいえ」の割合が計20%を超え高い。
- 回答区分に配点した比較

「はい」・・・2点、「どちらかと言えば、はい」・・・1点、  
 「どちらかと言えば、いいえ」・・・-1点、「いいえ」・・・-2点 として算定

※0.8点以上を赤で記載。

	卒業生調査	卒業時調査
(1) 入学前と比べて大学での学生生活によって、自分が良い方向に変わったと思いますか。	1.23点	0.87点
(2) 大学での経験が仕事に役立っていると思いますか。	1.00点	1.01点
(3) 大学での経験が仕事以外の社会生活に役に立つと思いますか。	0.73点	0.78点

・卒業時調査から比べ、(1)が向上している。

<問6：実社会において必要と考える能力>

○卒業生調査、卒業時調査毎の回答比較

	卒業生調査	回答数	卒業時調査	回答数
上位	コミュニケーション能力	420	コミュニケーション能力	247
	問題発見・解決能力	315	問題発見・解決能力	176
	チームワーク	192	チームワーク	135
	専門知識・技能	187	倫理観	130
	積極性・リーダーシップ	180	専門知識・技能	130
下位	企画力・計画力	89	企画力・計画力	35
	文章表現力	67	語学力・国際感覚	22
	語学力・国際感覚	38	情報リテラシー	19
	社会問題の理解	22	文章表現力	18
	情報リテラシー	19	社会問題の理解	18

・卒業時調査から比べ、上位から倫理観が外れ、積極性・リーダーシップが入っている。

<問7－(1)：今後充実させて欲しい教育分野>

○卒業時調査、卒業生調査毎の回答比較

	卒業生調査	回答数	卒業時調査	回答数
上位	医療薬学教育	278	薬学専門教育	154
	薬学専門教育	264	医療薬学教育	140
	実務科目	208	語学教育	101
	キャリア教育	148	基礎教育・ヒューマニズム教育	99
	実習科目	125	実務科目	99
下位	基礎教育・ヒューマニズム教育	91	卒業研究	23
	卒業研究	88	実習科目	21

・卒業時調査から比べ、上位から語学教育、基礎教育・ヒューマニズム教育が外れ、キャリア教育、実習科目が入っている。また、実務教育の位置付けが大きく向上している。

<問7－(2)：今後充実させて欲しい教育内容>

○卒業時調査、卒業生調査毎の回答比較

	卒業生調査	回答数	卒業時調査	回答数
上位	コミュニケーション教育	281	不得意科目の学習支援	134
	多職種連携教育	261	コミュニケーション教育	123
	不得意科目の学習支援	134	初年次教育	108
			多職種連携教育	108
下位	アクティブラーニング	93	アクティブラーニング	98
	初年次教育	86	ICTを利用した教育	14
	ICTを利用した教育	79		

・卒業時調査から比べ、上位から初年次教育が外れ、多職種連携教育の位置付けが大きく向上している。

<問7-(3)：今後充実させて欲しい施設>

○卒業時調査、卒業生調査毎の回答比較

	卒業生調査	回答数	卒業時調査	回答数
上位	食堂・コンビニ	239	食堂・コンビニ	214
	実習室	221	自習室	125
	自習室	221	学生ラウンジ	125
	学生ラウンジ	134	講義室	120
	研究室	131	研究室	35
下位	図書館	112	図書館	31
	研究機器	95	研究機器	31
	講義室	84	教育機器	14
	教育機器	72	実習室	11

・卒業時調査から比べ、上位から講義室が外れ、実習室が入っている。

<問7-(4)：学生生活を通じて人間形成のために大学が何に力を入れることが望ましいか>

○卒業時調査、卒業生調査毎の回答比較

	卒業生調査	回答数	卒業時調査	回答数
上位	インターンシップ	240	インターンシップ	125
	キャリア教育	233	キャリア教育	120
	海外留学の支援	186	クラブ活動の支援	105
	クラブ活動の支援	149	海外留学の支援	105
	地域貢献活動の支援	145	研究室での活動	105
下位	研究室での活動	131	地域貢献活動の支援	31
	ボランティア活動の支援	117	ボランティア活動の支援	26
	アドバイザー制度	76	アドバイザー制度	20

・卒業時調査から比べ、上位から研究室の活動が外れ、地域貢献活動の支援が入っている。

<問8：生涯学習に関して本学に期待すること>

○卒業時調査、卒業生調査毎の回答比較

	卒業生調査	回答数	卒業時調査	回答数
上位	公開教育講座(講演会)の充実	218	公開教育講座(実技講習会)の充実	107
	公開教育講座(実技講習会)の充実	112	通信講座	106
	シリーズ研修会の実施	78	学会発表・論文作成の支援	105
下位	通信講座	51	公開教育講座(講演会)の充実	100
	学会発表・論文作成の支援	51	シリーズ研修会の実施	83
	社会人大学院の充実	33	社会人大学院の充実	76

・卒業時調査から比べ、上位から通信講座、学会発表・論文作成の支援が外れ、公開教育講座(講演会)の充実、シリーズ研修会の実施が入っている。

<問10：転職予定と検討業種>

・転職予定は、19%という割合であった。

・検討業種の上位5つの回答は、薬局…58、病院…23、ドラッグストア…11、公務員(行政)…8、その他…8となった。